

## 施設白書

- 公共施設の現状を「量(ストック)」、「管理運営経費(コスト)」、「利用状況(サービス)」の三つの視点からとらえ、それらの調査・分析結果や評価とともに、管理運営面における課題を明らかにしたもの(秦野市公共施設白書(平成21年10月)より)
- 施設の維持管理経費や利用率、今後見込まれる改修・建替え(改築)経費等を把握し、財政状況等を踏まえたうえで、施設の現状と課題について明らかにする(目黒区施設白書(平成25年3月)より) ⇒両者とも、施設分類別に施設白書を作成

## 個別施設計画

- 公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策(※)の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるもの。(総務省作成資料より)
- (※)次回の点検、修繕・更新、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等
- 公共建築物及びインフラ(公共施設等)について、これまでの資産経営の取り組みや各施設の実情等を踏まえながら、個別施設毎に対策の内容や時期等を定める(千葉市公共施設等個別施設計画(平成30年5月)より)

施設白書により施設分類別の現状と課題を明らかにし、課題への対策を定める+個別施設計画により、個別施設別の対策を定める  
⇒施設分類別と個別施設別の両面で施設を管理する、施設分類別のマネジメント方針(=施設分類別の個別施設計画)を策定

### (イメージ)

